

2022年ウクライナ・緊急支援募金へのご協力をお願いします。

グリーンコープ共同体



「食品と暮らしの安全基金・提供」

共生の時代4月号・声明文

かけがえのない生命（いのち）
を守るために、ウクライナへの
軍事侵攻に断固反対します！

全文はこちら↓



今回は、緊急支援募金のお願いです！

グリーンコープは、今回の支援募金を「チェルノブイリ医療支援ネットワーク・木村先生の支援活動」「食品と暮らしの安全基金・小若代表の支援活動に」に連帯。2つの団体を通して、直接ウクライナの人たちへの支援に取り組みたいと思います。

【ご協力頂いたカンパ金の活用計画】

1. チェルノブイリ医療支援ネットワークとの連帯

グリーンコープでは、チェルノブイリ原発事故以降、チェルノブイリ医療支援ネットワークと連帯して、支援活動を行ってきました。毎年4月「チェルノブイリ医療支援募金」チラシを配布し、組合員の皆様から多くのご協力を頂いています。チェルノブイリ医療支援ネットワークの医療顧問である木村真三先生は、軍事侵攻を受けた直後より支援活動を開始しています。主な支援活動は、ウクライナからの避難者の受け入れやウクライナ支援先からの緊急要請を受け、医薬品や防護マスクなどの物資支援を計画しています。

2. 特定非営利活動法人「食品と暮らしの安全基金」との連帯

ポストハーベスト農薬や環境ホルモン問題で、グリーンコープと連帯して大きな成果を上げたのが「食品と暮らしの安全基金」です。2012年から、ウクライナの汚染農地にカリウム肥料を入れて、作物の放射能汚染を減らし、5000人以上の子どもを健康にしてきました。現在は、現地から毎日届く情報を、「ウクライナ通信」としてネット配信し、戦争で突然、無収入になったジャーナリストを支援しながら、爆撃された地区に日本ウクライナ友好会館を建設して、5年間はシェアハウスとして被災者に入ってもらおう計画を進めています。

※全ウクライナ・ジャーナリスト連盟・AltaTV チームから支援要請メッセージ。

全文はこちら↓

全ウクライナ・ジャーナリスト連盟（NUJU）は、ロシア軍によって始まった戦争の情報を集め、発信する仕事を必死に行っています。私たちは、困っているジャーナリストを支援してきましたが、財源が底をついているので、ぜひご支援をお願いします。AltaTVは、戦争が始まると、番組スポンサーが下り、広告がなくなったので、突然、収入がなくなりました。それでも、取材して発信するのは義務と考えて仕事を続けています。ぜひ、ご支援をお願いします。



◆申し込み期間：5月16日（月）～5月27日（金）9号もしくは10号
の共同購入申込書の該当欄に、ご希望の口数をご記入ください。

2022年5月ウクライナ支援募金			OCR申込書の通常申込欄へ口数を記入してください。2桁の数量を申し込む場合、特別申込欄に、申込番号「015」、数量欄に「10」と申し込まれると500円×10口＝5000円として受付けます。
申込番号	014	1口200円	
	015	1口500円	

組合員のみなさまからの救援金(カンパ)は、グリーンコープが責任を持って取りまとめ、チェルノブイリ医療支援ネットワーク・食品と暮らしの安全基金を通じて、支援活動等に役立てられます。

【食品と暮らしの安全基金からのコメントと提供いただいた写真】

我々が支援している汚染地域の中心地、ウクライナ・オヴルチ市の映像です。原発から 100 kmほど西にあります。70 km西のナロジチ（昔は 3 万人の市、強制移住区域なのに今も 1 万人がすむ）や、30 k m西のラディンカ村は、2 月 24 日以降、音信不通です。

